



# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月13日

石油資源開発株式会社  
(証券コード：1662)

# 目次

---

- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
- II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み**
- III. 2026年3月期 決算の概要**
- IV. 2027年3月期 業績予想の概要**

※本資料は2026年5月14日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

---

## I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況

II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み

III. 2026年3月期 決算の概要

IV. 2027年3月期 業績予想の概要

# 業績ハイライト

## 2026年3月期 通期連結決算のポイント（2025年3月期比較）

単位：億円	25/3月期 (a)	26/3月期 (a)	比較増減
営業利益	620	<b>389</b>	△230
経常利益	642	<b>615</b>	△26
親会社株主に帰属する当期純利益	811	<b>534</b>	△277
(参考) 連結配当性向30%の基準とする当期純利益の額	476	<b>534</b>	+58

- **営業利益** : 原油および天然ガス販売価格の下落、LNG販売量の減少（-）
- **当期純利益** : 投資有価証券売却益の剥落（-）

## 2027年3月期 通期連結業績予想のポイント（2026年3月期比較）

単位：億円	26/3月期 (a)	27/3月期 (f)	比較増減
営業利益	389	<b>410</b>	+20
経常利益	615	<b>450</b>	△165
親会社株主に帰属する当期純利益	534	<b>600</b>	+65
(参考) 連結配当性向30%の基準とする当期純利益の額	534	<b>380</b>	△154

- **営業利益** : 米国における原油・天然ガス販売量の増加（+） ホルムズ封鎖の影響 [次頁]（-）
- **経常利益** : 為替差益 82億円 およびデリバティブ利益 76億円の剥落（-）
- **当期純利益** : 北海道・ガス事業の譲渡益 [特別利益310億円、純利益影響額220億円]（+）

## 株主還元

- 2026年3月期の1株当たり配当金は中間20円、期末45円
- 2027年3月期の1株当たり配当金（予想）は中間22.50円、期末22.50円

# 中東情勢緊迫化 ～ 27年3月期業績予想への影響額

## 前提

- ✓ 1Q油価90ドル・為替158円、2Q以降は沈静化を想定
- ✓ ホルムズ封鎖解除後もLNG供給正常化までに一定期間を要し、上期JKM、JLCは高止まることを想定
- ✓ ガラフ油田は、現時点で操業再開時期が見通せず、通年にわたる生産・出荷の停止を前提

			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
原油	JCC, Brent	USD/bbl	90	70	70	70
	WTI	USD/bbl	90	65	65	-
LNG	JKM	USD/MMBtu	18	18	12	12
	JLC	円/トン	93,700	103,000	84,700	83,300
為替	ドル円	円/USD	158	150	150	150

JKM: LNGスポット取引の指標価格、 JLC: 全日本LNG平均輸入価格

## 営業利益影響額

- ✓ ホルムズ封鎖によるLNGスポット調達への振替（右表d）およびガラフ油田生産停止（右表e）が大幅な減益要因
- ✓ 計 72億円の悪化を業績予想に織り込み  
(国内E&P+35億円、海外E&P+14億円、I/U△121億円)

## 単位： 億円

(+は増益、△は減益要因)

	国内E&P	海外E&P	I/U
a) 1Q油価・為替上振れによる原油増益	+11	+53	
b) 上期JKM, JLC高止まりによる天然ガス、電力増益	+24		+70
c) 1Q油価上昇によるLNG調達コスト増（ターム契約）			△35
d) 代替調達によるLNG調達コスト増（スポット調達）			△156
e) ガラフ油田の通年生産停止による報酬原油減		△39	
<b>計</b>	<b>+35</b>	<b>+14</b>	<b>△121</b>

## その他の影響

- ✓ ガラフ出荷停止により既往投資の回収に遅れ（売上高の減少、営業CF「生産物回収勘定」の回収遅延）
- ✓ 石油製品・化学品（燃料油、メタノール等）は現時点で必要量が確保できていることから試算に織り込まず。供給逼迫が長期化する場合は営業費用の増加につながるリスク

**(前中計) 経営目標と資金配分の達成状況****定量目標**

項目	2026年度時点 達成目標	2025年度実績
<b>前提</b>	油価 (JCC) 50USD/bbl 為替 110円/USD	油価 (JCC) 71.89USD/bbl 為替 149.85円/USD
<b>事業利益*1</b>	<b>300億円</b>	<b>423億円</b>
<b>ROE</b>	<b>5%</b>	<b>9.2%</b>
<b>利益構成割合 (E&amp;P : E&amp;P以外)</b>	<b>6 : 4</b>	<b>7 : 3</b>

**資産配分**

項目	想定配分*2	2025年度累計実績
<b>成長投資</b>	<b>2,750億円</b>	<b>4,790億円</b> (2025年度 2,000億円)
<b>株主還元</b>	<b>250億円</b>	<b>800億円</b> (2025年度 128億円) 前期末配当 77億円 中間配当 51億円

\*1: 営業利益および持分法投資利益等 (投資事業有限責任組合契約や匿名組合契約にもとづき分配される利益を含む)

\*2: 2022年度から2026年度までの5年間累計

**(前中計) 2025年度の主な実績**

	上期 (2025年4月～9月)	下期 (同10月～2026年3月)
<b>E&amp;P</b>	<b>【海外E&amp;P】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>インドネシア カンゲアン鉱区からダイベスト、新たにグバン鉱区の新ガス田開発に参画 (5月)</li> <li>JAPEX UK E&amp;P LIMITEDの株式譲渡により、英国事業からのダイベストメントを完了 (7月)</li> <li>ノルウェーにおけるアセットスワップにより、ベルダンデ油ガス田、アルブノード油ガス田の権益を取得 (7月)</li> </ul>	<b>【海外E&amp;P】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノルウェー ベルダンデ油ガス田で生産開始 (12月)</li> <li>ノルウェー 探鉱ライセンスラウンドで2鉱区を落札 (1月)</li> <li>米国Verdad社から、タイトオイル・ガス資産の取得を完了、オペレーターを継承 (2月)</li> </ul> <b>【国内E&amp;P】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道日高地域沖合における試掘開始 (3月)</li> </ul>
<b>I/U</b>	<b>【電力事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>田原バイオマス発電所の営業運転開始 (4月)</li> <li>苫小牧市で太陽光発電所 (13MW) の建設を決定、バーチャルPPAにより環境価値を分離 (9月)</li> </ul>	<b>【電力事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>系統用蓄電池設備「JAPEX苫小牧蓄電所」の着工 (10月)</li> </ul> <b>【天然ガス・LNG】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道のガス製造事業、導管事業等の譲渡を決定 (12月)</li> </ul>
<b>CN</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苫小牧CCS事業の試掘許可を経産大臣より取得 (9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苫小牧CCS事業の試掘1号井の掘削開始 (1月)</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株) ジャパックスエネルギーの株式譲渡を決定 (5月)</li> </ul>	
<b>ESG</b>	<b>【E (環境)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>[温暖化対策] 非化石証書によるGHG排出量 (スコープ2) オフセット</li> <li>[生物多様性] TNFDに準拠したリスクと機会の定量分析を実施</li> </ul> <b>【S (社会)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>[人的資本] 国内E&amp;P・ガス供給業務の組織改編と人員最適化 (7月)</li> </ul>	<b>【S (社会)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>[人的資本] 健康経営銘柄、健康経営優良法人ホワイト500選定 (3月)</li> <li>[人権尊重] 取引先向け人権アンケート実施 (3月)</li> <li>[サプライチェーン] 取引先向けCSR調達アンケート実施 (3月)</li> </ul> <b>【G (ガバナンス)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>[エンゲージメント] 投資家向けESG面談に社外取締役が参加 (12月)</li> </ul>

- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み**
  - III. 2026年3月期 決算の概要
  - IV. 2027年3月期 業績予想の概要

# 2026年度の主な事業活動見通し

強みを活かせる4つのエリアに経営資源を集中

## 各エリアにおける2026年度の主な見通し

### ノルウェー

#### 多様で安定的な収益を生むポートフォリオ

- ・ベルダンデ油ガス田、アルブノード油ガス田の収益寄与
- ・新規取得ライセンス (PL1119) における探鉱・開発
- ・APA\*探鉱ライセンスラウンドへの応札
- ・生産量 2,000boed



### 日本

#### 技術と人材の涵養の場

- ・苫小牧CCSにおける2坑目の試掘井掘削
- ・日高沖試掘
- ・生産量 10,000boed



### 米国

#### 早期収益創出、能力開発拠点

- ・Verdad資産の開発最適化と価値最大化
- ・生産量 35,000boed

### 東南アジア

#### 将来の安定収益源

- ・グバン鉱区スチャンガンガス田の開発
- ・新規権益の獲得に向けた取り組みも並走

注) \* : Areas of Pre-defined Awardsの略称

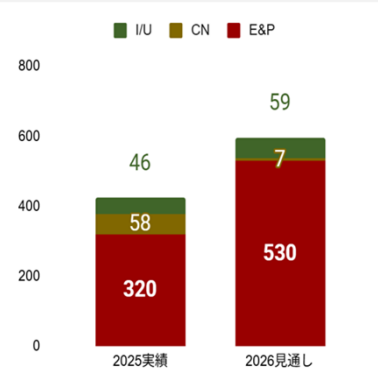
ノルウェー政府にて年に1度行われる探鉱入札。

過去に探鉱が実施されたエリアにおける更なる探鉱活動の促進を目的としたライセンス付与の制度。

# 2026年度の主な経営指標見通し

## 米国事業が利益を牽引、ノルウェー、インドネシアでも積極展開

### 成長投資

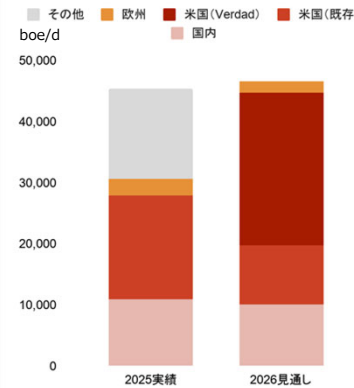


#### 海外E&P投資に注力

- 米国 Verdad 280億円
- ノルウェー 120億円
- インドネシア・グバン鉱区 90億円

※2025年度実績はVerdad取得費を除く

### 生産量

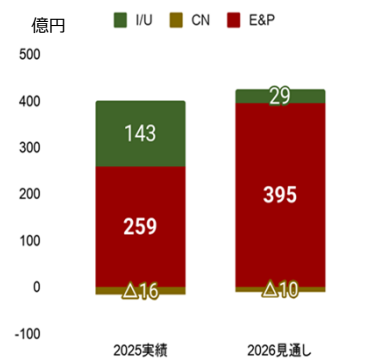


#### 米国生産量は前期17,000から 今期35,000boedに倍増

- Verdad生産量 25,000boed (+)
- 米国既存資産は10,000boedを計画  
前期比△7,000boed (-)
- ガラフは通年生産停止を前提 (-)
- カングアン売却による剥落 (-)

※子会社及び持分法適用会社はグロス生産量で記載

### 税後事業利益

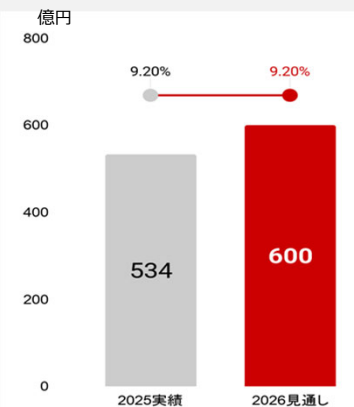


#### Verdad寄与で 米国・税後利益が伸長

- 米国・税後利益は、前期135億円から今期310億円に2.3倍 (+)
- I/UはLNG調達コスト増で大幅減益を予想 (-)

※コーポレート費用を除く

### 当期純利益・ROE



#### 今期予想ROEは9.2%、 一過性利益除くと5.9%

- [営業外損益] 為替差益、デリバティブ利益の剥落 (-)
- [特別損益] ガス事業譲渡益 (+)

- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み
  - III. 2026年3月期 決算の概要**
  - IV. 2027年3月期 業績予想の概要

## 決算概要【前期比】

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)	増減	
売上高	389,082	<b>340,336</b>	△ 48,745	△13%
売上総利益	99,157	<b>76,741</b>	△ 22,416	△23%
営業利益	62,012	<b>38,915</b>	△ 23,097	△37%
経常利益	64,221	<b>61,556</b>	△ 2,664	△4%
親会社株主に帰属する当期純利益	81,153	<b>53,427</b>	△ 27,725	△34%

## 原油価格・為替

		25/3月期(a)	26/3月期(a)	増減
WTI	USD/bbl	75.83	<b>64.90</b>	△10.93
原油CIF(JCC)	USD/bbl	82.66	<b>71.89</b>	△10.77
為替	円/USD	152.83	<b>149.85</b>	△2.98

# E&P事業 販売実績【前期比】

売上高単位：百万円	販売量 単位 <sup>*3</sup>	25/3月期 (a)		26/3月期 (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	—	—	129,012	—	109,257	—	—	△ 19,755	△15%

(内訳)

原油	千bbl	10,987	124,415	10,651	104,967	△ 335	△3%	△ 19,448	△16%
—国産原油 (含買入)		1,573	19,813	1,542	17,114	① △ 31	△2%	△ 2,699	△14%
—海外原油 <sup>*1</sup>		9,414	104,601	9,109	87,852	② △ 304	△3%	△ 16,748	△16%
天然ガス・海外販売 <sup>*2</sup>	百万cf	5,385	4,597	5,233	4,289	△ 151	△3%	△ 307	△7%

(単位変更前参考値)

原油	千kL	1,746		1,693		△ 53
—国産原油 (含買入)		250		245		△ 4
—海外原油 <sup>*1</sup>		1,496		1,448		△ 48
天然ガス・海外販売 <sup>*2</sup>	百万m <sup>3</sup>	152		148		△ 4

## 主な増減要因

- ① 販売量の減少および販売価格の下落
- ② 英領北海シーガルプロジェクトの譲渡による販売量の減少／販売価格の下落

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値

\*3 今回資料より、表示単位を変更 (千kL→千bbl、百万m<sup>3</sup>→百万cf)

(参考) 1kL=6.29bbl、1m<sup>3</sup>=35.31cf、1boe=5,800cf

# インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前期比】

売上高単位：百万円	販売量 単位 <sup>*2</sup>	25/3月期 (a)		26/3月期 (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	—	—	189,178	—	172,349	—	—	△ 16,829	△9%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万cf	33,064	77,538	32,770	73,345	△ 294	△1%	① △ 4,192	△5%
—国産天然ガス		15,712	—	13,930	—	△ 1,781	△11%	—	—
液化天然ガス	千トン	422	43,990	231	23,112	② △ 190	△45%	△ 20,877	△47%
電力	百万kWh	3,313	51,395	3,361	48,460	+48	+1%	△ 2,935	△6%
その他 <sup>*1</sup>	—	—	16,254	—	27,430	—	—	③ +11,175	+69%

(単位変更前参考値)

天然ガス・国内販売	百万m <sup>3</sup>	936	928	△ 8
—国産天然ガス		444	394	△ 50

## 主な増減要因

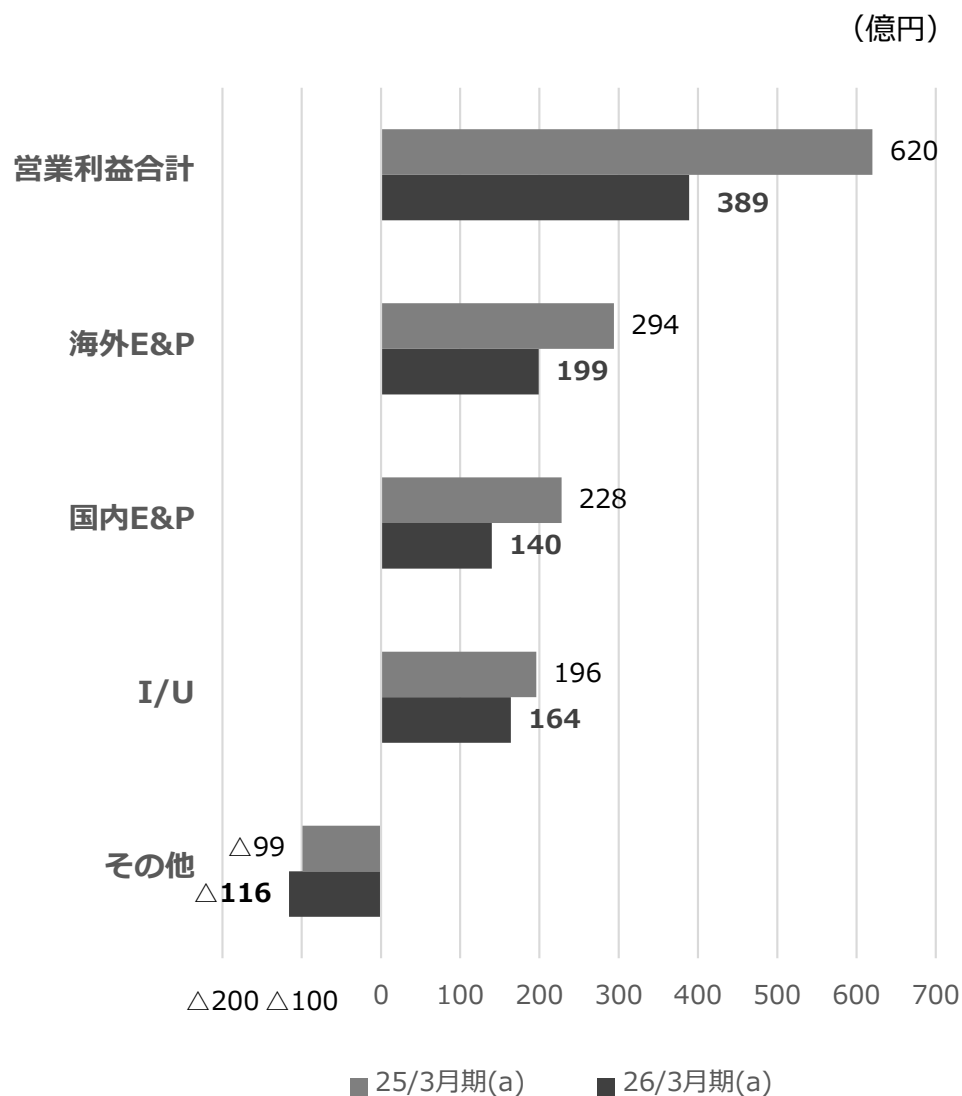
- ① 販売価格の下落
- ② 販売量の減少および販売価格の下落
- ③ バイオマス燃料販売量の増加

\*1 バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

\*2 今回資料より、表示単位を変更（百万m<sup>3</sup>→百万cf）。

(参考) 1m<sup>3</sup>=35.31cf、1boe=5,800cf

# 営業利益概要【前期比】



## E&P事業

**(海外) : △94億円 (294億円 → 199億円)**

- アメリカ・タイトオイル開発の販売価格の下落 (－)
- 英領北海・シーガルプロジェクトの譲渡 (－)

**(国内) : △87億円 (228億円 → 140億円)**

- 原油および天然ガス販売量の減少、販売価格\*の下落 (－)

\* 天然ガス販売価格は当社内部管理上のE&P事業からI/U事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

**△32億円 (196億円 → 164億円)**

- LNG販売量の減少 (－)

## その他\*

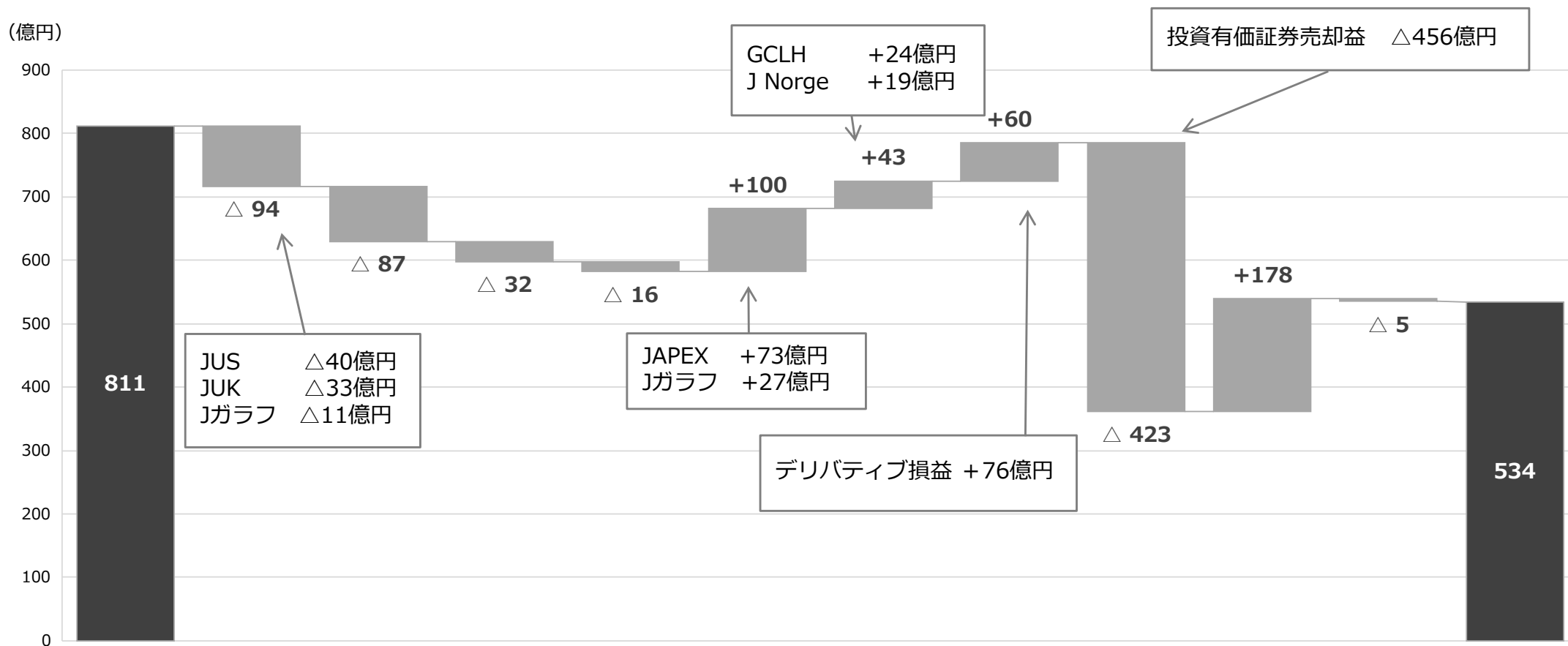
**△16億円 (△99億円 → △116億円)**

- 本社管理費の増加など (－)

\* 上記分野部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の分野区別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* △230億円					営業外損益 +204億円					純利益
25/3月期(a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	26/3月期(a)
25/3月期(a)	294	228	196	△ 99	△ 18	△ 2	42	443	257	16	
26/3月期(a)	199	140	164	△ 116	82	41	103	20	78	22	

注) 営業利益内訳の分野区別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み
  - III. 2026年3月期 決算の概要
  - IV. 2027年3月期 業績予想の概要**

## 通期業績予想

単位：百万円	26/3月期 (a)	27/3月期(f)	増減	
売上高	340,336	<b>303,000</b>	△ 37,336	△11%
売上総利益	76,741	<b>87,000</b>	+10,258	+13%
営業利益	38,915	<b>41,000</b>	+2,084	+5%
経常利益	61,556	<b>45,000</b>	△ 16,556	△27%
親会社株主に帰属する当期純利益	53,427	<b>60,000</b>	+6,572	+12%

## 原油価格・為替

		26/3月期 (a)	27/3月期(f)	増減
WTI	USD/bbl	64.90	<b>73.00</b>	+8.10
原油CIF(JCC)	USD/bbl	71.89	<b>74.91</b>	+3.02
為替	円/USD	149.85	<b>152.90</b>	+3.05

## E&amp;P事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量 単位 <sup>*3</sup>	26/3月期(a)		27/3月期(f)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	—	—	109,257	—	112,736	—	—	+3,479	+3%

(内訳)

原油	千bbl	10,651	104,967	11,754	106,492	+1,102	+10%	+1,525	+1%
—国産原油 (含買入)		1,542	17,114	1,312	15,195	△ 229	△15%	△ 1,919	△11%
—海外原油 <sup>*1</sup>		9,109	87,852	10,441	91,296	① +1,331	+15%	+3,444	+4%
天然ガス・海外販売 <sup>*2</sup>	百万cf	5,233	4,289	16,913	6,243	+11,680	+223%	+1,954	+46%

(単位変更前参考値)

原油	千kL	1,693	1,868	+175
—国産原油 (含買入)		245	208	△ 36
—海外原油 <sup>*1</sup>		1,448	1,659	+211
天然ガス・海外販売 <sup>*2</sup>	百万m <sup>3</sup>	148	478	+330

## 主な増減要因

- ① アメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加  
イラク・ガラフ油田の通年生産・出荷停止による販売量の剥落

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値

\*3 今回資料より、表示単位を変更 (千kL→千bbl、百万m<sup>3</sup>→百万cf) (参考) 1kL=6.29bbl、1m<sup>3</sup>=35.31cf、1boe=5,800cf

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量 単位 <sup>*2</sup>	26/3月期(a)		27/3月期(f)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	—	—	172,349	—	166,883	—	—	△ 5,465	△3%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万cf	32,770	73,345	31,637	73,767	△ 1,132	△3%	+421	+1%
—国産天然ガス		13,930	—	13,273	—	△ 657	△5%	—	—
液化天然ガス	千トン	231	23,112	249	25,181	+18	+8%	+2,068	+9%
電力	百万kWh	3,361	48,460	2,813	42,423	① △ 547	△16%	△ 6,036	△12%
その他 <sup>*1</sup>	—	—	27,430	—	25,511	—	—	△ 1,919	△7%

(単位変更前参考値)

天然ガス・国内販売	百万m <sup>3</sup>	928	895	△ 32
—国産天然ガス		394	375	△ 18

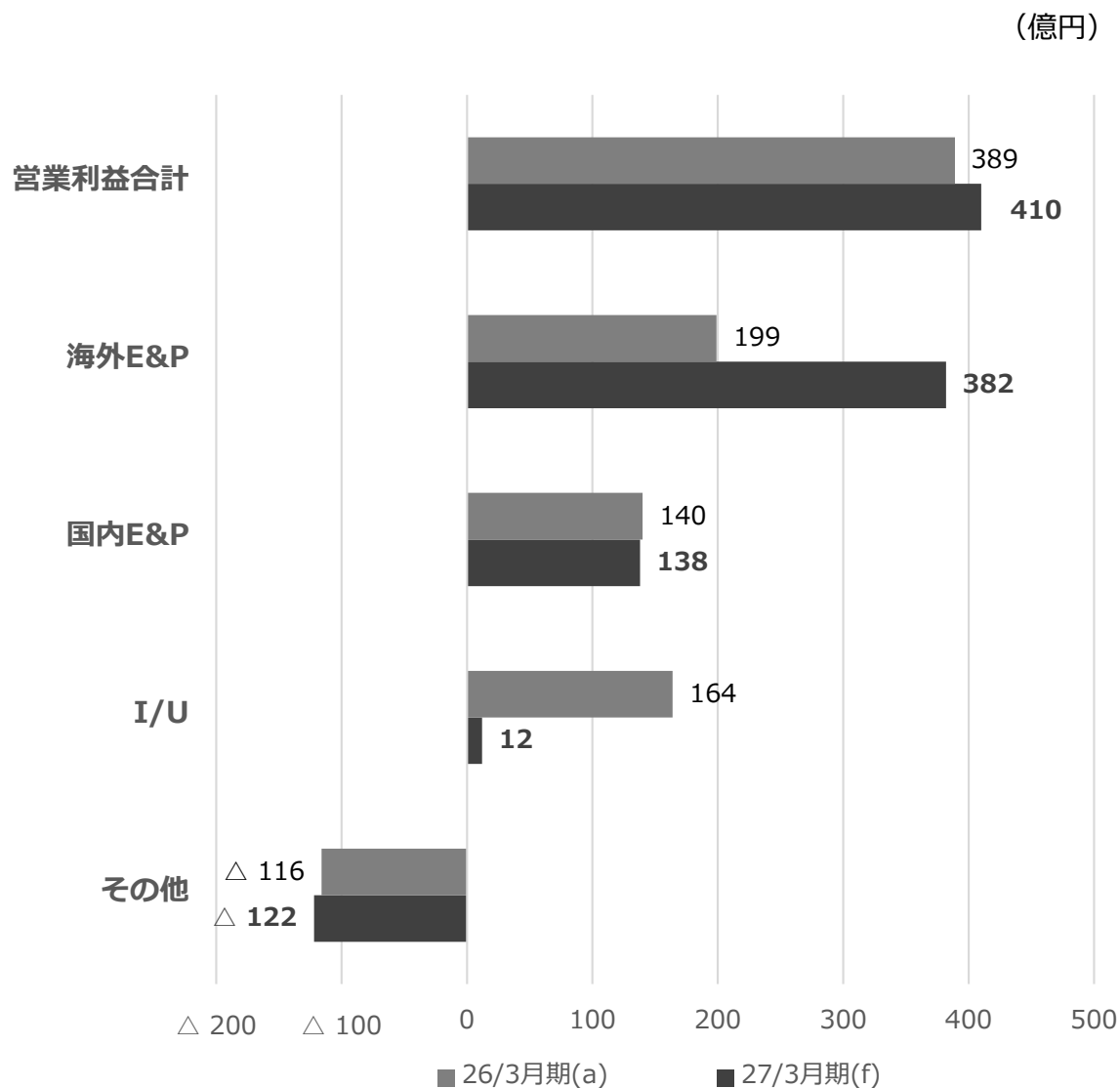
## 主な増減要因

① 販売量の減少

\*1 バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

\*2 今回資料より、表示単位を変更（百万m<sup>3</sup>→百万cf）。（参考） 1m<sup>3</sup>=35.31cf、1boe=5,800cf

# 営業利益予想



## E&P事業

(海外) : +182億円 (199億円 → 382億円)

- ・ アメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加 (+)
- ・ イラク・ガラフ油田の通年生産・出荷の停止 (-)

(国内) : △2億円 (140億円 → 138億円)

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

△152億円 (164億円 → 12億円)

- ・ LNGの代替調達によるコスト増 (-)

## その他\*

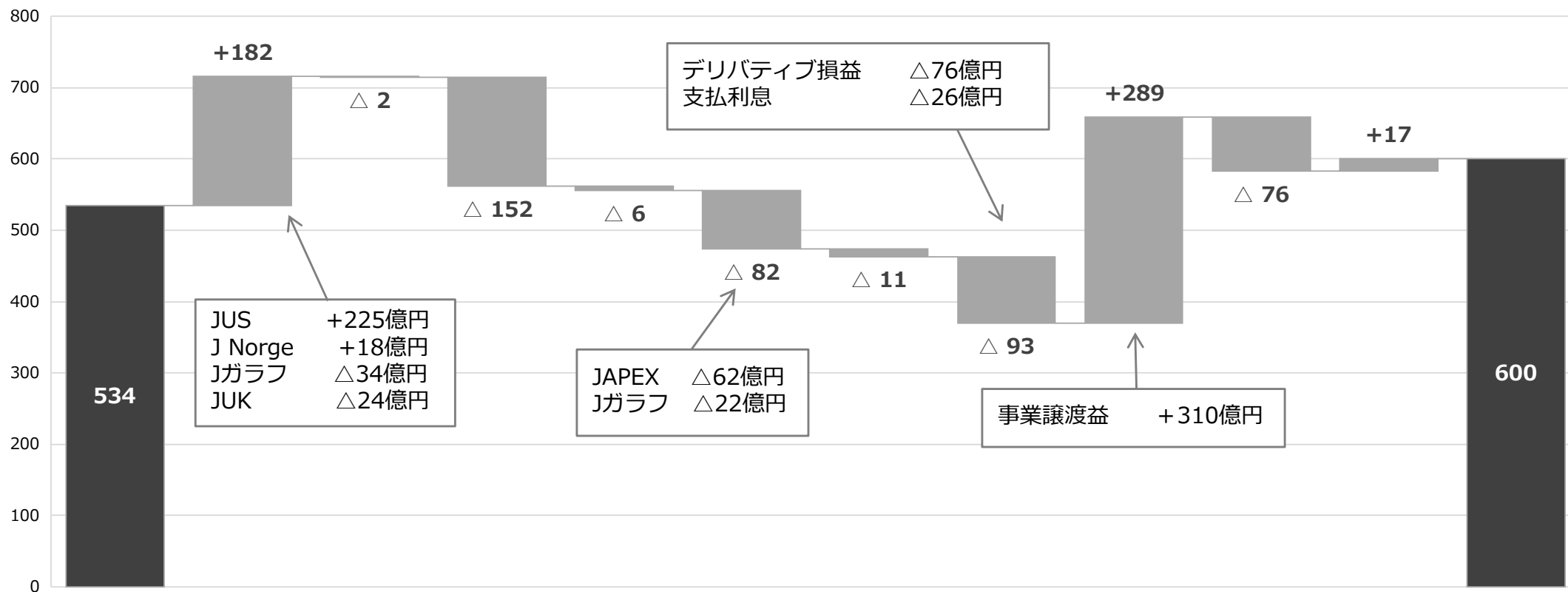
△6億円 (△116億円 → △122億円)

\*上記分野部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の分野区別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析

(億円)



純利益	営業利益* +20億円				営業外損益 △186億円						純利益
-----	-------------	--	--	--	--------------	--	--	--	--	--	-----

26/3月期(a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	27/3月期(f)
26/3月期(a)	199	140	164	△ 116	82	41	103	20	78	22	
27/3月期(f)	382	138	12	△ 122	—	30	10	310	155	5	

注) 営業利益内訳の分野区別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# バランスシートの状況

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)	増減
<b>流動資産</b>	<b>230,838</b>	<b>155,359</b>	<b>△ 75,479</b>
<b>固定資産</b>	<b>450,760</b>	<b>707,111</b>	<b>+256,350</b>
有形固定資産	227,590	373,390	+145,800
投資有価証券	180,280	274,024	+93,743
生産物回収勘定	19,144	21,950	+2,806
その他	23,745	37,745	+14,000
<b>資産合計</b>	<b>681,598</b>	<b>862,470</b>	<b>+180,871</b>

- Verdad 新規連結 (+)
- JUK連結除外 (-)

- 投資有価証券の時価上昇(+)

<b>流動負債</b>	<b>49,152</b>	<b>89,291</b>	<b>+40,139</b>
<b>固定負債</b>	<b>75,188</b>	<b>114,280</b>	<b>+39,092</b>
<b>純資産</b>	<b>557,257</b>	<b>658,897</b>	<b>+101,640</b>
内、その他有価証券評価差額金	36,630	94,349	+57,719
内、非支配株主持分	29,512	31,359	+1,846
<b>負債純資産合計</b>	<b>681,598</b>	<b>862,470</b>	<b>+180,871</b>

# キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)	増減	27/3月期 通期(f)	増減
	A	B	B-A	5.13公表 C	C-B
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>130,766</b>	<b>102,976</b>	<b>△ 27,790</b>	<b>73,832</b>	<b>△ 29,143</b>
税金等調整前当期純利益	108,614	63,557	△ 45,056	76,000	+12,442
減価償却費	49,906	47,050	△ 2,856	38,067	△ 8,983
有価証券及び投資有価証券売却損益	△ 45,698	△ 1,072	+44,626	-	+1,072
生産物回収勘定の回収	25,767	25,658	△ 109	-	△ 25,658
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 107,076</b>	<b>△ 200,494</b>	<b>△ 93,418</b>	<b>△ 57,970</b>	<b>+142,523</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 90,531	△ 28,630	+61,900	△ 46,779	△ 18,148
投資有価証券の取得による支出	△ 69,859	△ 8,464	+61,395	△ 1,779	+6,684
投資有価証券の売却及び償還による収入	51,511	286	△ 51,225	-	△ 286
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却・取得による収入または支出	2,967	△ 140,788	△ 143,755	-	+140,788
生産物回収勘定の支出	△ 24,004	△ 28,465	△ 4,460	△ 37,808	△ 9,343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 38,671</b>	<b>6,007</b>	<b>+44,678</b>	<b>11,105</b>	<b>+5,098</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>140,931</b>	<b>49,954</b>	<b>△ 90,977</b>	<b>76,921</b>	<b>+26,966</b>
有利子負債 <sup>*1</sup>	14,980	37,152	-	68,419	-
EBITDA <sup>*2</sup>	125,334	95,515	-	86,036	-
有利子負債/EBITDA倍率（倍）	0.1	0.4	-	0.8	-

\*1 リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

\*2 営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

## 参考資料

---

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. セグメント売上高
5. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
6. 2027年3月期予想における原油価格・為替のセンシティブティ
7. 主要事業概況
8. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内
9. 用語集

# 1. 売上高内訳：①E&P事業

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)					27/3月期(f)
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
							5.13公表
売上高	129,012	27,309	29,195	26,229	26,523	109,257	112,736
原油販売量 (千bbl)	10,987	2,393	3,139	2,650	2,468	10,651	11,754
(千KL)	1,746	380	499	421	392	1,693	1,868
原油売上高	124,415	25,410	27,892	25,729	25,933	104,967	106,492
国産原油販売量(含買入) (千bbl)	1,573	343	430	344	423	1,542	1,312
(千KL)	250	54	68	54	67	245	208
国産原油売上高	19,813	3,906	4,383	3,704	5,119	17,114	15,195
海外原油販売量 <sup>*1</sup> (千bbl)	9,414	2,049	2,709	2,305	2,045	9,109	10,441
(千KL)	1,496	325	430	366	325	1,448	1,659
海外原油売上高	104,601	21,504	23,509	22,024	20,814	87,852	91,296
天然ガス海外販売量 <sup>*2</sup> (百万cf)	5,385	1,695	1,651	999	887	5,233	16,913
(百万m <sup>3</sup> )	152	47	46	28	25	148	478
天然ガス海外売上高	4,597	1,898	1,302	499	589	4,289	6,243
WTI (USD/bbl)	75.83	71.46	63.87	65.03	59.23	64.90	73.00
原油CIF <sup>*3</sup> (USD/bbl)	82.66	77.85	71.17	72.66	67.19	71.89	74.91

(参考) 2025年度末 確認埋蔵量 255百万BOE (国内58百万BOE 海外197百万BOE / 原油157百万BOE 天然ガス98百万BOE)  
 2025年度 生産量日量 39千BOED (国内11千BOED 海外28千BOED / 原油29千BOED 天然ガス10千BOED)

\*1 25/3月期および26/3月期1Q-2Qは、海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値  
 26/3月期3Q以降は、海外連結子会社株式会社ジャベックスガラフ、Japex (U.S.) Corp. およびJAPEX Norge ASの数値

\*2 25/3月期および26/3月期1Q-2Qは海外連結子会社株式会社Japex (U.S.) Corp.、JAPEX UK E&P Ltd. (2025年7月に全株式譲渡済) およびJAPEX Norge ASの数値  
 26/3月期3Q以降は、海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. およびJAPEX Norge ASの数値

\*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績

# 1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)					27/3月期(f)
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
							5.13公表
売上高	189,178	39,765	40,213	46,407	45,962	172,349	166,883
天然ガス国内販売量 (百万cf)	33,064	7,104	6,764	8,421	10,480	32,770	31,637
(百万m <sup>3</sup> )	936	201	191	238	296	928	895
天然ガス国内売上高	77,538	17,079	15,148	18,369	22,747	73,345	73,767
国産天然ガス販売量 (百万cf)	15,712	3,243	2,906	3,656	4,124	13,930	13,273
(百万m <sup>3</sup> )	444	91	82	103	116	394	375
液化天然ガス販売量 (千トン)	422	35	35	113	46	231	249
液化天然ガス売上高	43,990	4,155	4,369	9,405	5,182	23,112	25,181
電力販売量 (百万kWh)	3,313	784	931	791	854	3,361	2,813
電力売上高	51,395	11,918	13,165	11,240	12,135	48,460	42,423
その他*	16,254	6,611	7,530	7,391	5,896	27,430	25,511
LNG(全日本CIF) (円/トン)	93,492	86,836	84,018	83,874	86,990	85,430	91,200

\* バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 2. 損益の状況

単位：百万円	25/3月期(a)	26/3月期(a)					27/3月期(f)
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
							5.13公表
<b>売上高</b>	<b>389,082</b>	<b>82,844</b>	<b>85,296</b>	<b>92,177</b>	<b>80,018</b>	<b>340,336</b>	<b>303,000</b>
E&P事業	129,012	27,309	29,195	26,229	26,523	109,257	112,736
I/U事業	189,178	39,765	40,213	46,407	45,962	172,349	166,883
その他	70,891	15,769	15,887	19,540	7,533	58,730	23,380
売上原価	289,924	57,522	67,080	76,362	62,628	263,595	216,000
<b>売上総利益</b>	<b>99,157</b>	<b>25,321</b>	<b>18,215</b>	<b>15,814</b>	<b>17,389</b>	<b>76,741</b>	<b>87,000</b>
探鉱費	3,172	251	486	374	853	1,965	6,600
販管費	33,972	8,369	8,921	8,867	9,701	35,860	39,400
<b>営業利益</b>	<b>62,012</b>	<b>16,699</b>	<b>8,808</b>	<b>6,572</b>	<b>6,834</b>	<b>38,915</b>	<b>41,000</b>
営業外損益	2,208	4,110	3,318	9,754	5,457	22,641	4,000
受取利息	2,492	533	624	593	531	2,283	1,000
支払利息	△ 2,646	△ 410	△ 18	△ 26	△ 105	△ 560	△ 3,200
受取配当	4,610	111	1,336	78	1,339	2,866	3,200
持分損益	△ 252	1,766	790	817	739	4,114	3,000
海投損繰入・戻入	1	—	—	—	—	—	—
為替差損益	△ 1,812	318	1,984	4,135	1,763	8,201	—
その他	△ 183	1,791	△ 1,400	4,155	1,188	5,735	—
<b>経常利益</b>	<b>64,221</b>	<b>20,810</b>	<b>12,126</b>	<b>16,326</b>	<b>12,292</b>	<b>61,556</b>	<b>45,000</b>
特別損益	44,392	△ 3	1,015	190	798	2,001	31,000
税金等調整前当期純利益	108,614	20,807	13,141	16,517	13,090	63,557	76,000
法人税等	25,766	5,067	1,488	2,869	△ 1,530	7,894	15,500
非支配株主に帰属する当期純利益	1,694	25	311	924	973	2,235	500
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>81,153</b>	<b>15,714</b>	<b>11,341</b>	<b>12,723</b>	<b>13,648</b>	<b>53,427</b>	<b>60,000</b>

## 3. セグメント損益

単位：百万円		25/3月期(a)	26/3月期(a)				27/3月期(f)	
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
							5.13公表	
日本	営業利益	44,985	9,420	7,868	5,823	7,756	30,869	15,758
	持分法投資利益	162	△ 131	98	82	144	193	△ 19
北米	営業利益	21,100	6,864	4,045	3,692	2,480	17,082	39,639
	持分法投資利益	899	952	586	733	659	2,931	3,133
欧州	営業利益	5,593	3,104	△ 909	△ 164	△ 402	1,626	1,042
	持分法投資利益	△ 1,920	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益	4,154	621	723	828	793	2,968	△ 494
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-
その他 <sup>*1</sup>	営業利益	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	605	946	105	1	△ 63	990	△ 114
調整額 <sup>*2</sup>		△ 13,821	△ 3,312	△ 2,920	△ 3,607	△ 3,792	△ 13,632	△ 14,945
連結損益算書計上額 <sup>*3</sup> 営業利益		62,012	16,699	8,808	6,572	6,834	38,915	41,000

\*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.を含む

\*2 調整額の内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

\*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている

## 4. セグメント売上高

単位：百万円		25/3月期(a)					26/3月期(a)				
		日本	北米	欧州	中東	合計	日本	北米	欧州	中東	合計
E&P事業	原油	19,813	54,629	15,660	34,311	124,415	17,114	50,511	5,648	31,692	104,967
	天然ガス(海外)	-	1,076	3,520	-	4,597	-	1,866	2,423	-	4,289
	小計	19,813	55,705	19,181	34,311	129,012	17,114	52,377	8,072	31,692	109,257
I/U事業	天然ガス(国内)	77,538	-	-	-	77,538	73,345	-	-	-	73,345
	液化天然ガス	43,990	-	-	-	43,990	23,112	-	-	-	23,112
	電力	51,395	-	-	-	51,395	48,460	-	-	-	48,460
	バイオマス燃料	10,170	-	-	-	10,170	21,625	-	-	-	21,625
	その他	6,084	-	-	-	6,084	5,804	-	-	-	5,804
小計	189,178	-	-	-	189,178	172,349	-	-	-	172,349	
その他の事業	請負	8,572	-	-	-	8,572	10,807	-	-	-	10,807
	石油製品・商品	59,598	-	-	-	59,598	45,441	-	-	-	45,441
	その他	2,720	-	-	-	2,720	2,481	-	-	-	2,481
小計	70,891	-	-	-	70,891	58,730	-	-	-	58,730	
合計		279,883	55,705	19,181	34,311	389,082	248,194	52,377	8,072	31,692	340,336

## 5. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			(上段) 2025年1月～ 2026年3月					通期
			(下段) 2026年1月～ 2027年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC)*	USD/bbl	当期実績	—	77.85	71.17	72.66	67.19	71.89
		今期予想	—	<b>83.43</b>	<b>76.23</b>	<b>70.00</b>	<b>70.00</b>	<b>74.91</b>
WTI	USD/bbl	当期実績	71.46	63.87	65.03	59.23	—	64.90
		今期予想	<b>71.98</b>	<b>90.00</b>	<b>65.00</b>	<b>65.00</b>	—	<b>73.00</b>
LNG (全日本CIF)	円/トン	当期実績	—	86,836	84,018	83,874	86,990	85,430
		今期予想	—	<b>93,700</b>	<b>103,000</b>	<b>84,700</b>	<b>83,300</b>	<b>91,200</b>
為替	円/USD	当期実績	—	147.22	145.83	150.47	156.07	149.85
		今期予想	—	<b>157.63</b>	<b>152.94</b>	<b>150.00</b>	<b>150.00</b>	<b>152.90</b>

\* 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価

## 6. 原油価格・為替のセンシティブティ

	27/3月期 予想前提	変動幅	営業利益への 影響額	主な変動項目 + 増益効果 / △減益効果
原油価格	<b>WTI            USD 73.00 /bbl</b>  <b>原油CIF価格、Brent</b> <b>                  USD 74.91 /bbl</b>	USD 1/bbl の価格上昇	<b>+760百万円</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	<b>152.90 円/USD</b>	1円/USD の円安	<b>+470百万円</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

### 【前提】

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・ 為替変動の影響に関し、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

# 7. 主要事業概況① E&P分野



## ● 当社が推進・参画するE&P事業

No.	油ガス田/プロジェクト名 (オペレーター)	権益比率 (当社Net)	主な生産種別	状況	当期生産量日量 (当社Net) *1
A	日本・国内油ガス田 (北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業)	権益により異なる	原油・天然ガス	生産中	10,984boed
1	イラク・ガラフ油田 (PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.)	30% (16.5%)	原油	生産・開発中	8,292bbl/d*2
2	インドネシア・グバン鉱区 (EMP Gebang Ltd.)	100% (50%)	—	開発中	—
3	ノルウェー領・海上鉱区 (Equinor ASAほか*3)	権益により異なる	原油	生産・開発中	651boed
4	ロシア・サハリン1プロジェクト (Sakhalin-1 Limited Liability Company: S1LLC)	30% (4.59%) *4	原油	生産・開発中	非開示
5	アメリカ・タイトオイル・ガス開発 (Verdad資産) (Peoria Resources, LLCほか*3) *5	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	—
6	アメリカ・タイトオイル開発 (既存資産) (EOG Resources Inc.ほか*3)	権益により異なる	原油	生産・開発中	16,806boed

\*1 2025年度 (No.1:2025年4月~2026年3月、No.3, 6 :2025年1月~12月) の日量生産量平均。 \*2 コスト回収と生産報酬額相当の原油量

\*3 権益によってオペレーターが異なるため、主なオペレーターを記載

\*4 2022年11月のロシア政府令によりサハリン石油ガス開発株式会社 (SODECO) のS1LLC持分30%引受承認 \*5 2026年2月末に、Verdad資産を取得完了

## 7. 主要事業概況② I/U分野 – ガス供給

### 当社の国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

#### ● 国内ガス供給

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、内航船）による供給
- 当社ガスパイプライン・LNG基地の第三者利用・受託業務など

#### ● 国内ガス供給の多様化対応

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

#### ● LNG調達

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

#### ● 海外LNG供給

- 事業参画：米国テキサス州 フリーポートLNGプロジェクト



# 7. 主要事業概況③ I/U分野 – 電力

発電所	拠点合計	10か所	出力合計	1,403,100kW
	うち再エネ	9か所	うち再エネ	223,100kW <small>*出力合計値はGross</small>
蓄電所	拠点合計	2か所	出力合計	21,999kW

## ● 当社が推進・参画する発電所・蓄電所

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%
2	北海道苫小牧太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	33.3%
3	北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%
4	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%
5	新潟松浜太陽光発電所	新潟県新潟市	太陽光	0.03万	100%
6	見附太陽光発電所	新潟県見附市	太陽光	0.025万	100%
7	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%
8	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%
9	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	28.28%
I	JAPEX苫小牧蓄電所	北海道苫小牧市	蓄電所	2万* (約10.6万kWh)	100%
II	JAPEX美浜蓄電所	千葉県千葉市	蓄電所	0.1999万* (約6,000kWh)	100%

\*カッコ内は蓄電所内の容量

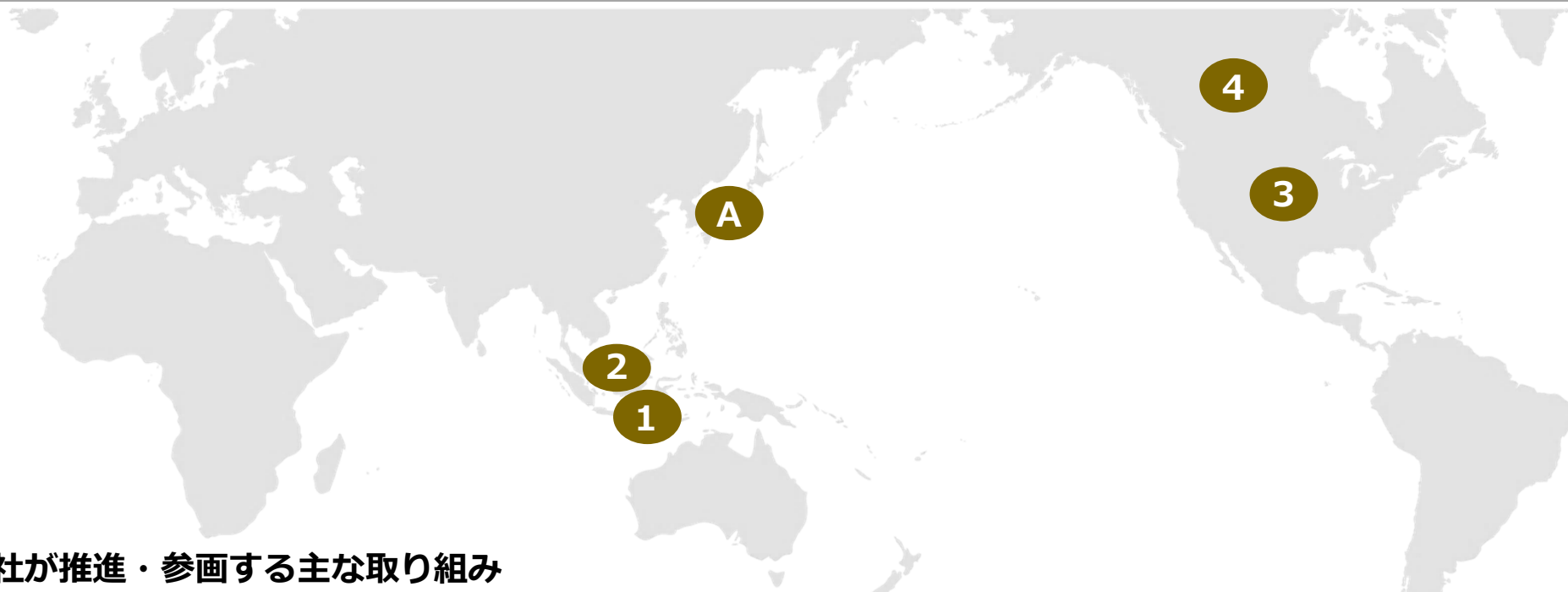
## ● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合（非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%）
- 太陽光発電所の共同事業に関する基本合意書を飯野海運と締結（2030年までに累計の出力約30MW規模の太陽光発電所を設置することを旨とする）
- 特定卸供給事業者として初めてオフサイトPPAを締結（2025年9月）



- ガス発電所
- 再エネ発電所
- 再エネ発電所 (建設中)
- 蓄電所
- 蓄電所 (建設中)

## 7. 主要事業概況④ CN分野



### ● 当社が推進・参画する主な取り組み

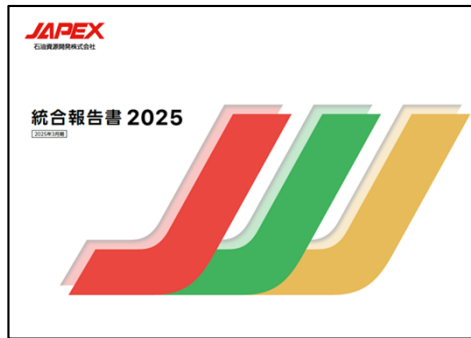
No.	国名	主な取り組み
A	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和6年度「先進的CCS事業に係る設計作業等」において東新潟地域におけるCCS事業に係る設計作業等を受託（2024年9月）</li> <li>✓ 令和6年度「先進的CCS事業に係る設計作業等」において苫小牧地域におけるCCS事業に係る設計作業等を受託（2024年10月）</li> <li>✓ 北海道苫小牧市沖において、CCS事業法に基づく試掘作業を開始（2025年11月）</li> </ul>
1	インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ SKK Migasとインドネシアにおけるハブ＆クラスター型CCS/CCUS実現に向けた協力に係る覚書を締結（2023年9月）</li> <li>✓ インドネシア・南スマトラ州におけるBECCSの適用性評価に係る共同スタディ契約を丸紅、プルタミナ、PHEと締結（2024年8月）</li> <li>✓ インドネシア・スコワティ油田にて複数坑井間のCO<sub>2</sub>圧入試験を実施（2024年10月）</li> </ul>
2	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和6年度「先進的CCS事業に係る設計作業等」においてマレーシア サラワク州におけるCCS事業に係る設計作業等を受託（2024年9月）</li> </ul>
3	アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 当社初の海外制度先進国におけるCCS事業検討案件へ参入するため米BSO社への資本参加（2023年10月）</li> </ul>
4	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ インベスト・アルバータ社とエネルギー市場における事業創出協業に関する覚書を締結（2024年3月）</li> </ul>

## 8. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

### 統合報告書

#### ◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2025、2025年9月発行）は、  
以下のリンクから直接ご覧いただけます

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX\\_IR2025\\_j.pdf](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2025_j.pdf)

### 開示資料アーカイブ

- ◆ 決算短信
- ◆ 決算説明資料
- ◆ 有価証券報告書等

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

### 業績情報など

- ◆ 業績ハイライト（過去5期分）  
※過去10年分CSVデータダウンロード
- ◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX\\_10yearFinancialData\\_j.xlsx](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx)

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

## 9. 用語集

### ■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル（日量）
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
CN	Carbon neutral	カーボンニュートラル
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
I/U	Infrastructure & Utility	インフラ・ユーティリティ
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

### ■ 主要な子会社・持分法適用会社

JUS	Japex (U.S.) Corp.	米国・タイトオイル開発
J Norge	JAPEX Norge AS	ノルウェー領海上鉱区
Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフ油田
FGP	福島ガス発電（株）	天然ガス火力発電事業
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
EMPG	EMP Gebang Ltd.	インドネシア・グバン鉱区
GCLH	Gulf Coast LNG Holdings LLC	米国テキサス州・フリーポート LNGプロジェクト

## 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

**JAPEX**

石油資源開発株式会社